

# おびひろ 市議会 だより

No. **42**

令和5年  
6月定例会号



今年で60周年を迎えるおびひろ動物園  
(アムールトラマオ)

## 就任のご挨拶



横山 明美 議長

このたび、帯広市議会議長に就任いたしました横山でございます。議長の職を拝命し、その責任の重さに、身の引き締まる思いでございます。

先日開催された6月定例会においては、24名の議員が一般質問に臨みましたが、そのうち6名は初当選議員によるもので、様々な角度から質問している姿に、新鮮さを感じたところであります。

議員一同、市民の皆さまの負託に 대응べく、私は議会のまとめ役として、全力を尽くしてまいります所存であります。

そして、市民の皆さまが、安全・安心に暮らせるまち、帯広に住んでよかつたと思えるまちづくりの実現に向け、議会としての役割を果たしてまいりますので、引き続き、皆さまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。



榎山 直義 副議長

このたび、帯広市議会副議長に就任いたしました榎山でございます。選任いただき、大変光栄に存じますとともに、その責任の重さを痛感しております。

私たち議員は、地方自治をすすめる二元代表制の一翼を担う議会人である自覚の下、市長、理事者との切磋琢磨を通して、安全で住みよいまちづくりを期待する市民の負託にしっかりと応えていく責務があるものと考えております。

そのため、副議長の職務を全うする覚悟の下、横山議長を支え、議会議論の活性化と議会運営の円滑化を図りながら、より良い帯広のまちづくりのために、全力で取り組んでまいります。

今後とも、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。就任にあたりましてのご挨拶いたします。

## 新体制!!

# 第23次の議会がスタート

## 補正予算などを審議・可決

## 臨時会の概要

令和5年第2回臨時会を5月12日から5月16日までの5日間の会期で開催し、議長・副議長選挙を行ったほか、各常任委員会委員および議会運営委員会委員の選任などを行いました。(6P参照)

また、補正予算などを審議し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

## 定例会の概要

令和5年第3回定例会を6月12日から6月27日までの16日間の会期で開催し、補正予算や条例の一部改正などを審議したほか、24人の議員が一般質問を行いました。

## 補正予算などは、特別委員会を設置して集中審査

令和5年度補正予算・条例などは、議案審査特別委員会での審査後(4P参照)、6月27日の本会議最終日において、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

## 6つの意見書を国会や関係行政庁に提出

本会議最終日において、6つの意見書を全会一致で可決しました。(5P参照)

## 陳情1件を付託

陳情第1号「フリースクールに子どもを通わせる保護者への助成金については経済文教委員会に付託し、閉会中継続審査を行うこと」に決定しました。

## 目次

議長・副議長就任あいさつ、臨時会・定例会の概要	1
一般質問	2~3
一般質問、議案審査特別委員会の審査概要 など	4
意見書、常任委員会等の動き など	5
委員会の構成 など	6

「ジョブジョブとかちダイバーシティ(仮称)」の構築などにより、高齢者やひとり親などの多様な人材の就業機会の創出に向けた取組みを支援



令和5年8月1日から令和5年11月30日検針分の水道料金基本料金の免除



町内会などに対し、防犯灯に係る電気料金高騰の負担軽減のために支援



明治北海道十勝オーバルで開催されるワールドカップスピードスケート競技会に対する支援



## 提案された補正予算(抜粋)



三浦 勇利 議員  
(友愛)



### 市長のまちづくりの 基本方向について

**質** 市長のまちづくりの基本方向に、「フードバレーとかちをNew Stageに発展させる」とあるが、New Stageというのとはどういったものか。

**答** これまでの取組みを通して、十勝・帯広のまちづくりに対する共感、共鳴が広がりを見せている。昨今、この地域の持つポテンシャルが一層注目され、これまでの10年の展開とは違うNew Stageへの期待を感じている。

**提言** これまで10年以上フードバレーとかちを旗印にまちづくりをすすめてきているが、フードバレーとかち自体が住民の理解を得られていないと感じる。ぜひ積極的な情報発信に努めてほしい。



柳田 健太郎 議員  
(立憲)



### 子育て支援について 〜待機児童対策〜

**質** 帯広市の待機児童数と待機児童対策について伺う。

**答** 各年度4月1日時点で、令和3年度は8人、令和4年度と令和5年度は0人しかし、例年、年度後半にかけて0歳から2歳児を中心に待機児童が発生している状況。特定の保育施設を希望し、入所がかなわない潜在的待機児童数は令和3年が143人、令和4年が98人、令和5年が71人。待機児童解消に向けた取組みとして0歳から2歳児を対象に認可外保育施設を利用する場合、認可保育所の保育料との差額補助（令和4年度は月額最高5万7000円）を行っている。



椎名 成 議員  
(公明)



### 人口減少・少子化対策として 子どもの居場所の充実を

**質** 世界にも誇れるような十勝の自然を生かした、0歳から18歳までのすべての子どもたちが障害の有無などにかかわらず安心して過ごせる「インクルーシブ」な居場所の創設に向けた市の考えは。

**答** 帯広市においても、社会の変化や課題の複雑化に伴う子どもの居場所づくりは重要であると考えており、地域で活動している子育てボランティアなどの関係団体とも意見交換をすすめている。

**提言** 失敗や間違いといった経験も社会では生きてくる。地域の団体とも意見交換しながら、十勝の雄大な自然の中において様々な経験ができる居場所の創設をすすめてほしい。



大竹 武光 議員  
(公明)



### 学校施設の適正配置と現状の課題、 今後の取組み

**質** 清流の里方面の生徒が通う川西小・中学校で、生徒数の増加とともに教育環境が悪化しているとの相談があった。授業参観に行っても保護者などが教室に入れないなどの意見もあったが、現在の教室環境について伺う。

**答** 清流地区の宅地造成により児童・生徒数が増加し、小学校においては教室数が不足しているほか、一教室あたりの面積が狭い状況にあると認識している。

**質** いち早く教室の環境改善に努めることが求められているが今後の対応を伺う。

**答** 必要に応じて保護者や地域との意見交換なども実施しながら、学習環境の維持に努めていく。



大塚 徹 議員  
(市政)



### 学校環境整備対策 〜子どもたちの学習環境の平等化を考える〜

**質** 市内小学校の令和5年度の運動会開催状況について伺う。

**答** 6月3日土曜日に開催予定であった小学校23校中、20校で予定どおり実施したが、西、緑丘、栄小学校の3校については降雨の影響によりグラウンドの状況が悪く、それぞれ平日に延期した。

**質** 平日に延期となると参加できなくなる保護者も増え、子どもたちがかわいそう。子どもたちの学習環境の平等化を考えると、計画的なグラウンド改修が必要と考えるが、今後の対応について伺う。

**答** 学校施設全体の老朽化対策や施設整備なども含め、緊急性や優先度を勘案しながら、計画的に対応していきたい。



佐々木 直美 議員  
(立憲)



### 福祉センターの活用について

**質** 現在帯広には31の福祉センターがあるが、利用率が20%以下の施設が10施設。社会情勢の変化に応じた利用方法を検討し、利用価値を高める必要がある。こども館としての用途を付加し、指定管理者制度を導入することは検討できないか。

**答** すべての福祉センターを維持していくことは財政的に困難。優先順位を設けながら、あり方について検討をすすめる。

**提言** 多様化する地域課題にきめ細やかに対応するためには、民間団体との連携が不可欠。官民連携などをすすめる上で民間団体を支援し育てていく視点が大切。必要とされるサービス提供のため、既存施設の有効活用策の検討が必要。



大林 愛慶 議員  
(立憲)



### 「若者」転出者が3000人超 転出入の傾向分析・対策強化を

**質** 若者の「地元定着」を実現できるかは地域の今後のありようを左右する。昨年の転出者は7398人であり、その約42%を15歳から29歳が占めている。分析をすすめるため、転出入時にアンケートなどを実施すべきと考える。市の見解は。

**答** 20歳から25歳は転入超過が続いており、進学で転出しても就職に伴い戻ってきている状況がうかがえる。そのほかは全国の人口動態と比較し、特有の目立つ傾向が見られないため、現在の目立つ出入理由を詳細に把握する考えはない。

**提言** この年代が市の人口に占める割合が比較的高い今だからこそ、人口減少・少子化対策への一歩につながる取組みを。



林 佳奈子 議員  
(自・無)



### 中心市街地活性化の推進を ひとり親支援の強化を

**質** 市長の中心市街地に対する思いは。将来性などに民間企業が投資価値を見いだし、藤丸後継事業の検討や長崎屋などの不動産取得といった動きなどはポジティブな側面と評価する声も聞こえてくる。時代に即した姿に変化する途上の動きという捉え方もできると考えている。

**質** クラウドファンディングを活用して藤丸再建事業を支援する考えは。

**答** まずは国の補助制度などの活用可能性について検討していく。

**質** ひとり親へのワンストップ相談体制を強化すべきと考えるが、市の見解は。

**答** 職員配置に課題があり難しいと認識。IT活用などの検討を要望する。



岡坂 忠志 議員  
(立憲)



### コロナ禍後の医療体制と 物価高騰対策は？

**質** 新型コロナウイルス感染症の感染状況と5類移行後の診療体制を伺う。

**答** 帯広保健所管内の感染状況は全道平均と同様に増加傾向にある。管内の外来対応医療体制はおおむね充足していると考えている。

**質** 物価高騰対策の基本的な考えを伺う。

**答** 国や道が行う施策とのバランスや相乗効果などを考慮しながら総合的に検討。

**質** 物価高騰は収まるとは考えづらい。今後、国が交付金拡充などを実施した場合、どのように検討していくのか。

**答** 市民生活や地域経済への影響などを踏まえ、限られた財源を有効に活用しながら、必要な対策を総合的に検討する。



藤浦 有希 議員  
(立憲)



### 帯広市の女性への起業支援は？ 60周年、より愛される動物園をめざして

**質** 地域経済の活性化において女性の起業・創業を促進することが重要と考えるが、市の見解を伺う。

**答** これまで相談窓口設置やセミナーの開催のほか、金融機関などと連携し新事業を生み出すとかち・イノベーション・プログラムを実施するなど支援をすすめてきており、女性の参加者は増加傾向。

**質** 動物園の魅力向上のため、トイレマップの作成と貸出用ベビーカーに対する考えを伺う。

**答** トイレマップはトイレ整備と併せて工夫や検討をしていく。また、貸出用ベビーカーは今後保管場所も含めて設置台数を増やすことも考えていく。

※議員名の下にQRコードについては、スマートフォンなどの専用アプリで読み取ると、各議員の質問の映像がご覧いただけます。  
(録画映像は一定の期間をもって配信を終了しています。)



西本 嘉伸 議員  
(市政)

### 高齢者に優しい環境づくりに向けて 老人クラブの新たなあり方と方向性

**質** 老人クラブ活動費補助制度などを見直したとのことだが、変更点を伺う。

**答** 補助申請書類の簡素化、補助要件となる社会奉仕活動事業の見直しなどにより、申請の負担感を減らしたほか、活動に使用するバスの運行範囲を十勝管外も可とした。また、どちらも市老連未加入クラブも申請可能とした。

**質** 令和5年度の市老連未加入クラブによる補助金とバスの申請状況について伺う。

**答** 補助金は18クラブ、バスは9クラブと活動を継続している大半のクラブから申請があり、制度の見直しについてはおおむね好評と考えている。



杉野 智美 議員  
(共産)

### 自衛隊への名簿提供に係る情報提供 除外申請の周知徹底を

**質** 核兵器廃絶平和都市宣言を行っている市として、戦争や争いのない世界の実現に向けた考えは。

**答** 核廃絶と戦争の根絶に向け、たゆまずに取り組んでいく必要がある。

**質** 重要土地等調査法が全面施行されたが、帯広駐屯地が特別注視区域などに指定された場合の市民への影響は。

**答** 特別注視区域に指定された場合、区域内の土地の所有権移転などの契約の際に届出が必要となるなどの定めがある。

**質** 自衛隊への名簿提供の対象となる市民への周知は重要。今後の対応は。

**答** 制度のさらなる浸透に向け、手法などの検討が必要と捉えている。



工藤 進 議員  
(公明)

### 自転車事故の取組みと 高齢者施策(老老介護)について

**質** 道路交通法改正で自転車用ヘルメット着用の努力義務が課せられた。全国的には多くの自治体で購入費用に助成を行っているが、市の助成の考えを伺う。

**答** 現在助成の考えはないが、市民の大切な命を守るためにも、自転車利用時のヘルメット着用については様々な機会を通じて普及啓発活動をすすめていく。

**質** 超高齢社会が継続する中で老老介護も増えている。市の支援について伺う。

**答** 介護疲れや将来の不安などから不幸な事件が全国的に発生しており、地域包括支援センターやケアマネジャー、関係機関などと連携を図りながら、支援に取り組んできている。



大平 亮介 議員  
(共産)

### 経済的負担を強いる校則、 学校指定品は見直しを

**質** 校則で学校指定品の購入、着用を義務づけている中学校もあり、校則を遵守するためには経済的負担が伴う。学校指定品以外のものを着用した場合に生徒指導の対象になるのか。

**答** 学校指定品以外のものを着用した場合には、事前に確認するなど、個々の生徒に寄り添った対応をし、指導対象とはならないものと認識している。

**質** 経済的負担を強いる校則や学校指定品は見直しが必要と考えるが、市の見解は。

**答** 学校における様々な慣例も見直しの時期にも来ている。新しい時代における校則や学校指定品について研究したい。



大和田三朗 議員  
(自・無)

### 介護認定審査会の問題点

**質** 高齢者数増加に比例して要介護認定の審査件数も増加している。今後の審査件数の推移をどう想定しているのか。

**答** 要介護認定の申請件数に比例して審査件数も増加していくため、令和8年度には現在の合議体で審査可能な件数を上回るが見込まれている。

**質** 今後の審査会の方向性は。

**答** 成り手不足などから合議体の増加は難しい。令和3年度からの一部有効期間の延伸化、オンライン開催の継続のほか、令和5年度から国の要件に該当する更新申請は申請の簡素化を取り入れる方向。



谷保 寿彦 議員  
(自・無)

### フードバレーとかちを掲げる帯広市の 「農業キャリア教育」の現状

**質** 児童の農業理解促進への教育と地域特性を生かした食育の取組みは。

**答** 小学校では「おびひろ市民学」において食育推進サポーターによる出前授業や、モデル校を指定し、平成17年度より「ふるさと学習農園」を実施している。

**質** フードバレーとかちを掲げる帯広市において、小・中学生の頃から食や命を支える農業を職業の一つとして選択できる「農業キャリア教育」の取組状況と、市の考え方を伺う。

**答** 農業体験の一層の充実を図りながら、市の良さや特色を理解し、将来農業を含む地域産業に携わり、自己の夢を実現する子どもの育成に努めていく。



鬼塚 英喜 議員  
(自・無)

### 持続可能な観光地帯広をめざす 防災での地域コミュニティの重要性

**質** 国はコロナ禍を経た観光立国推進計画を策定し、観光を持続可能な形で復活させるとしているが、市の観光振興の今後の考えは。

**答** 今後も関係機関などと連携し、十勝・帯広のアウトドアを柱に特色ある観光振興に取り組み、地域社会経済に好循環を生む持続可能な観光地づくりをすすめる。

**質** 自主防災、行政に協力している町内会の存立などの観点から、町内会促進条例の制定が必要と考えるが、市の見解は。

**答** 先進事例の内容や効果、課題などの情報収集をすすめており、今後町内会連合会の役員会に情報提供の上、意見交換をすすめていく。



石井 宏治 議員  
(自・無)

### 鳥獣被害について

**質** 市街地においてキツネやカラスにより家庭菜園やごみステーションが荒らされる被害があり、キツネにおいては空き家の軒下に住みつき、悪臭の原因となっている。また、公園の砂場も荒らされ、エキノコックス感染症も心配される。有害鳥獣に対する市の今後の対応は。

**答** 箱わなを設置して捕獲したり、必要に応じてひなの捕獲や巣の撤去を行っている。空き家の軒下に住みつき問題については、現地における状況確認や所有者などに対する文書送付などで指導を行っている。エキノコックス症については、事例の情報収集を行っている。



菊地 ルツ 議員  
(立憲)

### 家族介護者支援の運用見直しを 第二の受動喫煙・香害から市民を守る

**質** 児童発達支援や放課後等デイサービス支給量の上限が15日であることの根拠はなく、家族介護者支援の視点からこの運用を見直すべきと考える。見解は。

**答** 上限拡大については、医療的ケア児は23日の支給量とするなど、必要に応じた対応を行っていることも踏まえ、事業所の状況なども把握しながら検討していく必要があると考えている。

**質** 自分にとっては心地のよい香りでも、相手には体調不良を引き起こすなど苦痛な害となることがある「香害」に対する市の具体的な対応を伺う。

**答** 国の動きも注視し、健康相談など必要な対応を引き続き行っていく。



今 識史 議員  
(自・無)

### 誰もが便利で快適に暮らせる デジタル社会への取組みについて

**質** 市民生活向上や行政の効率化におけるAIやデジタル技術活用への市の見解は。

**答** 今後もデジタル化を着実にすすめる。健康管理など、独居されている方や高齢者へのデジタル活用案を伺う。

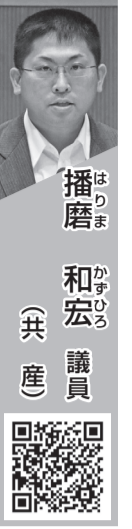
**質** デジタルの活用の視点も含め、保健福祉施策全体において総合的に検討。

**質** 衛星測位システムを活用した除排雪の効率化システム導入への見解を伺う。

**答** 先行導入している自治体から導入費用や効果について情報収集を行っている。

**質** 地元企業へのDX促進支援の考えは。

**答** 地域全体のデジタル化へ向け、民間企業への支援も重要。地域事業者の課題を関係部局と共有しながら検討していく。



播磨 和宏 議員  
(共産)



**再エネの推進で、エネルギーの自給自足と地域循環型経済の構築を**

**質** 市の再生可能エネルギーのポテンシャルは1220%の余力があるとされている。エネルギーの域内循環をつくり出すことは可能で、その際には地元企業の力がしつかりとかわれる観点が必要と考えるが、見解は。

**答** 市内事業者の中にはバイオガスパラントの整備などで、売上の増加や雇用の拡大につなげている企業もある。再生可能エネルギーの活用をすすめる、雇用の創出をはじめ地域の発展につなげていく。

**質** エネルギー源の転換などの先導役を担う十勝エネルギー公社設立の考えは。

**答** 管内自治体における取組状況なども踏まえ、循環型社会の形成につなげる。



有城 正憲 議員  
(市政)



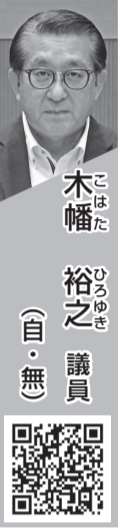
**新たな農業行政の展開は！  
教職員の負担を軽減すべき！**

**質** 開拓140年・市制施行90年の記念サイトに「誇りを高め、未来をともに」とあるが、現状の農業情勢に対する認識と新たな農業行政の展開などの決意は。

**答** 国の動きに対応しながら、生産者や関係団体などとの連携の下、安全で良質な農畜産物の安定的な生産に取り組み、地域農業の持続的な成長発展につなげ、地域経済や我が国の食を支える役割を果たしていきたい。

**質** 教職員の働き方改革などをすすめる動きがあるが、市の時間外勤務の状況は。

**答** 令和4年度において教諭の時間外勤務の月平均時間は小学校で24時間37分、中学校で43時間14分となっている。



木幡 裕之 議員  
(自・無)



**建設業界の現状について  
読書について**

**質** 本市の建設業界の現状・認識を伺う。

**答** 労働環境を改善し若年層の入職をすすめることが急務とされるなど環境変化への対応を求められている。国や道の動向を踏まえ必要な制度の改正や周知などにより良好な労働環境の確保に努めたい。

**質** 建設業界における週休二日制確保に向けた市の取組みを伺う。

**答** 令和元年度から試行的に週休二日モデル工事を土木工事にて実施しており、一部建築工事にも拡大しているところ。

**質** 子どもの読書に対する市の考えは。

**答** 基礎学力を高めることはもとより、感性を磨き、創造力などを養い、人生をより豊かなものにする上で大切な活動。



今野 祐子 議員  
(公明)



**带状疱疹と骨粗しょう症への  
取組みについて**

**質** 带状疱疹は発疹と強い痛みが特徴で中高年に多く、80歳までに3人に1人が経験。免疫力低下で発生し、重症化すると視力低下や難聴、顔面麻痺の恐れがある。予防接種の費用と市の助成を伺う。

**答** 带状疱疹ワクチンは2回接種が必要で4万円程度。現在は任意接種で、助成対象外だが、国の厚生科学審議会にて定期接種化の検討が行われている。

**質** 骨粗しょう症は軽い転倒で骨折しやすくなる。特に女性の患者が多い病気が適切な治療で骨折防止ができる。検診受診者数向上に向けた市の考え方を伺う。

**答** 関心を高めてもらうため、検診の周知啓発と受診の呼びかけを行う。

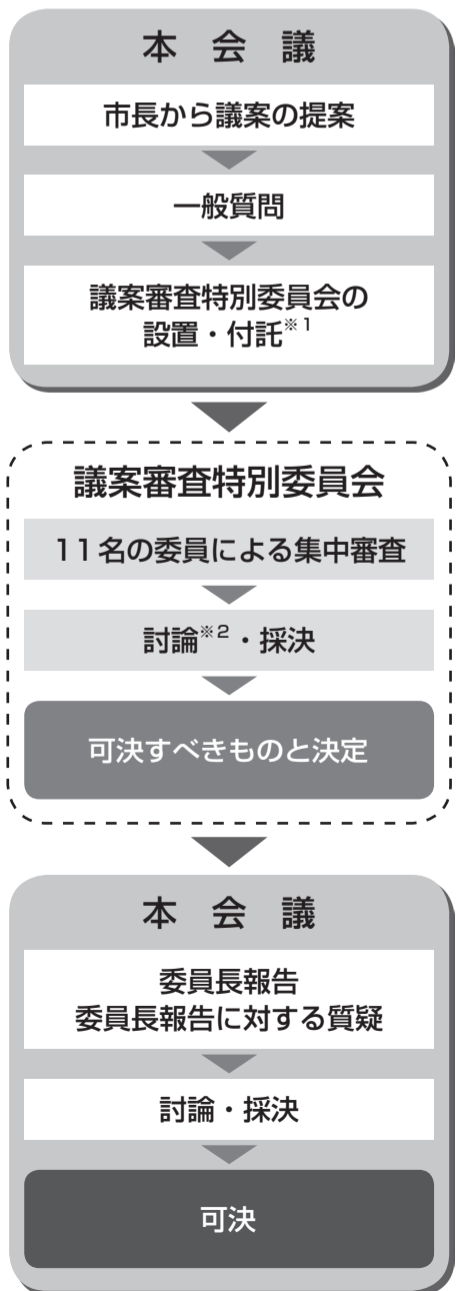
令和5年度補正予算などにおける主な質疑（議案審査特別委員会）

議案審査特別委員会の審査概要

6月定例会では、市長から提案された補正予算などについて、議案審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

委員会での主な議論の概要について掲載します。

【審査の流れ】



マイナンバーカード

マイナンバーカードにひもづける口座情報の誤登録など、マイナンバーカードをめぐるトラブルが全国で相次いで発生している。帯広市では、一連の報道にあるような事案は発生していないとのことであるが、不安に感じている市民もいることから、未申請者に対する丁寧な周知に努めるとともに、適正な交付体制を整備すべき。

畜産業における飼料高騰対策

飼料価格の高騰に伴う畜産業者の負担を軽減するため、国は飼料1トンあたり8500円を上限とし、支援金の交付を行うが、帯広市において3000円を上限に上乗せ支援を行うとのこと。今後とも国の事業の有効活用に向けた取り組みはもとより、帯広市の農業の実情に合わせた市独自の支援も検討すべき。



高齢者・障害者などの雇用促進

帯広地域雇用促進協議会は、これまでジョブジョブとかちシニアにおいて高齢

者と企業のマッチングを支援してきたが、今後は、障害者やひとり親などに対象者を広げて就業機会の創出に向けた取組みを行うとのこと。職場への定着率が重要と考えるため、高齢者や障害者一人ひとり特性にあった仕事が就けるよう支援をすすめるべき。

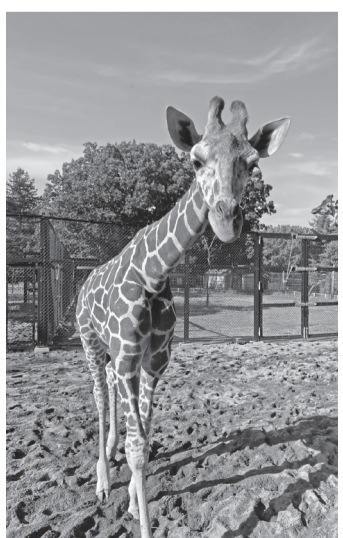


ワールドカップスピードスケート競技会

令和5年11月10日から11月12日までの期間で明治北海道十勝オーバルにおいて、ワールドカップスピードスケート競技会が開催される。世界のトップ選手が集まる貴重な機会であるため、子どもたちが選手と交流できるイベントの実施や観光分野と連携した地域活性化に取り組むべき。

キリン舎の整備

おびひろ動物園のキリン舎は築50年以上が経過していることに加え、仔キリンの成長に伴い、現在飼育している3頭のキリンが生活するにはスペースが狭くなっている。そのため3頭を個別に飼育で



水道料金の基本料金免除

今回2回目となる水道料金の基本料金4か月免除は、市民からも好評な施策と聞く。国からの地方創生臨時交付金を活用した物価高騰対策の1つであるが、申請不要で、市民・事業者問わず広く公平に支援が行える点は一定の評価ができる。一方で、事業者の契約内容によっては免除額が少なく、事業者への物価高騰対策としては効果が小さいとも感じる。今後は地方創生臨時交付金が見込めない可能性も高いことから、経済団体などとも意見交換をしながら、市民の生活や経済活動を支援する施策を検討すべき。

※1 付託：本会議での議決の前に、議案などの検討を詳しく行うため、委員会に審査を委託すること。  
 ※2 討論：採決の前に、賛成か反対か自分の意見を述べる。意見の異なる相手を自分の意見に同調させるために行う。

## 意見書の提出

令和5年6月定例会において、全会一致で意見書案を可決し、国会や関係行政省庁へ提出しました。意見書の要旨をお知らせします。

### 「意見書」ってなに??

議会の意思を意見としてまとめたもので、国会や関係省庁等に送っています。



### 森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書



#### 要旨

- ・適切な間伐と伐採後の植林などの森林整備や、防災・減災対策の推進に必要な事業予算を確保すること
- ・スマート林業の推進、木材・生産流通体制の強化、木材の販路拡大、人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること など

### 学校給食の無償化を求める意見書



#### 要旨

全ての子どもたちに食の安全・安心や栄養バランスの取れた良質な給食を提供することは、心身の健やかな成長に欠かせないものであるが、地方自治体の財政状況は厳しいため、国において学校給食の無償化を早期に実現すること。

### 地方財政の充実・強化に関する意見書



#### 要旨

- ・増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、十分な財源の確保を図ること
- ・子育て支援や生活困窮者の自立支援などといった社会保障関連経費の拡充を図ること など

### 令和5年度北海道最低賃金の改正に関する意見書



#### 要旨

- ・経済の自立的成長の実現に向けて、最低賃金を引き上げること
- ・厚生労働省の業務改善助成金などの活用を促進すること など

事前申込不要!

令和5年度テーマ別

## 市民意見交換会を開催します!

市民の皆様からのご意見をぜひお聞かせください!

日時 11月11日(土) 13:00~14:30

会場 とかちプラザ 4階 401講習室 ほか



常任委員会ごとに分かれて実施します。  
詳細については、ホームページで順次公開します。



### 義務教育費国庫負担制度堅持、少人数学級の実現など教育予算確保・拡充と就学保障の充実に向けた意見書



#### 要旨

- ・義務教育費国庫負担制度を堅持すること
- ・教職員の超勤・多忙解消のため、教職員増の早期実現を図ること など

### 「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

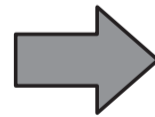


#### 要旨

- ・道内公立高校の学級定員を地域の実情に合わせて見直すこと
- ・希望するすべての子どもが地元で学ぶことのできる環境の保障を実現するための検討をすすめること など

## 議会トピックス 議会・議員活動の活性化・効率化などのため、タブレット端末を導入

### 資料のペーパーレス化・業務の効率化



たくさんの議会資料を携帯性に優れたタブレット端末にまとめ、いつでもどこでも資料の確認などが可能に

### 常任委員会等の動き 5月~7月

5月・6月の各常任委員会においては、理事者から、それぞれの所管事項と令和5年度の主な事務事業の概要について説明がありました。  
そのほかの動きは次のとおりです。

#### 総務委員会

##### 理事者報告

〔5月〕帯広圏デジタル化推進構想(骨子)

##### 質問通告

〔7月〕住民基本台帳ネットワークシステム

#### 厚生委員会

##### 理事者報告

〔7月〕障害福祉サービス等の利用者負担上限月額の区分誤認定の対応

##### 質問通告

〔7月〕マイナ保険証の運用

#### 経済文教委員会

##### 理事者報告

〔6月〕農作物の生育状況/令和4年度ばんえい競馬の発売成績等

〔7月〕農作物の生育状況

##### 質問通告

〔7月〕帯広市民文化ホールの駐車場

#### 付託案件

〔陳情第1号〕フリースクールに子どもを通わせる保護者への助成金

#### 建設委員会

##### 理事者報告

〔5月〕帯広市地域公共交通計画(原案)

〔7月〕上下水道料金収納業務等の包括委託の実施

#### 議会運営委員会

##### 協議事項

会派届出事項変更届の受理/令和5年第3回定例会の運営/その他

# 各委員会の構成をお知らせします

## 常任委員会

地方自治法の規定に基づき、設置しています。帯広市議会では、4つの常任委員会を条例で定め、各委員会では、その部門に属する市の事務に関する調査を行い、議案、請願などを審査します。

### 総務委員会

#### 委員名

播磨 和宏(委員長)  
今 識史(副委員長)  
岡坂 忠志  
菊地 ルツ  
大竹口武光  
西本 嘉伸  
石井 宏治



後列左から 西本委員、大竹口委員、岡坂委員、石井委員、菊地委員  
前列左から 今副委員長、播磨委員長

#### 所管事務

重要政策の企画及び総合計画 / 財務 / 広報及び広聴 / 市税 / 総合的な行政の推進 / 危機対策 / 消防団 / 交通安全及び防犯 / 職員 / 財産 / 情報 / 戸籍及び住民基本台帳 / 国民年金 / 支所 / 会計管理者の所管に属する事項 / 選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会及び監査委員の所管に属する事項 / 他の委員会の所管に属しない事項

#### 重点調査項目

- ①自治体経営の推進に関する調査
- ②防災・減災に関する調査

### 厚生委員会

#### 委員名

椎名 成(委員長)  
大平 亮介(副委員長)  
柳田健太郎  
藤浦 有希  
大塚 徹  
鬼塚 英喜  
大和田三朗



後列左から 大塚委員、鬼塚委員、大和田委員、藤浦委員、柳田委員  
前列左から 大平副委員長、椎名委員長

#### 所管事務

社会福祉 / 市民活動 / 男女共同参画 / 介護保険 / 乳幼児及び子育て支援 / 保健衛生 / 国民健康保険 / 後期高齢者医療

#### 重点調査項目

- ①保健衛生及び子育て支援に関する調査
- ②高齢者・障害者福祉及び介護保険に関する調査
- ③市民協働及び男女共同参画に関する調査

### 経済文教委員会

#### 委員名

林 佳奈子(委員長)  
三浦 勇利(副委員長)  
植山 直義  
今野 祐子  
有城 正憲  
谷保 寿彦  
杉野 智美



後列左から 有城委員、谷保委員、杉野委員、今野委員、植山委員  
前列左から 三浦副委員長、林委員長

#### 所管事務

商業及び工業 / 産業間の連携 / 労政 / 消費者 / 観光 / 国内外の親善及び交流 / 空港 / 農業、林業、畜産業及び水産業 / ばんえい / 農業委員会の所管に属する事項 / 教育委員会の所管に属する事項

#### 重点調査項目

- ①農林業及び畜産業の振興に関する調査
- ②地元企業の活性化及び観光振興に関する調査
- ③学校教育に関する調査

### 建設委員会

#### 委員名

上野 庸介(委員長)  
工藤 進(副委員長)  
佐々木直美  
大林 愛慶  
稗貫 秀次  
佐々木勇一  
木幡 裕之



後列左から 木幡委員、佐々木(勇)委員、佐々木(直)委員、稗貫委員、大林委員  
前列左から 工藤副委員長、上野委員長

#### 所管事務

都市計画 / 道路、河川及び橋りょう / 交通機関 / 土地の開発及び区画整理 / 住宅並びに建築指導及び建築確認 / 建築及び営繕 / 緑化推進及び公園 / 環境保全及び公害対策 / 清掃その他環境衛生 / 上、下水道

#### 重点調査項目

- ①都市環境の維持・保全に関する調査
- ②上、下水道の維持管理に関する調査

### 議会運営委員会

地方自治法の規定に基づき、議会の運営や議長の諮問に関する調査などを行います。

#### 協議・諮問に応じる事項

臨時会招集請求 / 会期 / 議事日程 / 会議における議事進行 / 提出議案及び諸報告 / 請願及び陳情の取扱い / 一般質問者の数、時間及び順位並びに緊急質問 / 委員等の各会派割振り / 議会費予算及び決算 / 議会関係例規類 / その他必要と認めた事項

#### 委員名

石井 宏治(委員長)  
菊地 ルツ(副委員長)  
大林 愛慶  
稗貫 秀次  
大竹口武光  
西本 嘉伸  
上野 庸介  
杉野 智美



後列左から 大林委員、稗貫委員、大竹口委員、西本委員、上野委員、杉野委員  
前列左から 石井委員長、菊地副委員長

### 議会だより編集委員会

市民に議会及び市政への関心を持っていただけるように、議会における議論内容や議会活動を伝えるため、議会だよりの編集などを行っています。

#### 委員名

林 佳奈子(委員長)  
藤浦 有希  
三浦 勇利  
今野 祐子  
西本 嘉伸  
大平 亮介



後列左から 三浦委員、西本委員、今野委員、藤浦委員、大平委員  
前列 林委員長

### 編集後記

令和5年5月から新市議会がスタートしました。今回の「議会だより」は、新議員を含め新体制の議会を知っていたり、機会になったかと思えます。今後3か月1回発行し、表紙写真から掲載する内容、レイアウトなど編集委員で作成いたします。SNSにはない紙媒体の良さを生かし、市議会をより身近に感じていただき、さらに分かりやすい、読みやすい、伝わりやすい、そんな紙面づくりをめざします。ぜひお楽しみください。

(編集委員長 林 佳奈子)

### ～令和5年9月定例会 開催予定日のお知らせ～

開催日時	会議内容
5日(初日)	13時～ 本会議
6日	10時～ 議案審査特別委員会
11日～15日、 ※11日は予備日	10時～ 一般質問
19日、20日、22日 25日～27日	10時～ 決算審査特別委員会
29日(最終日)	13時～ 本会議

※日程は予定であり、変更することがあります。

○開催中は会議を傍聴できるほか、議会の様子は、生放映と録画放映を行っておりますので、市議会ホームページからもご覧いただけます。



市議会  
ホームページ



インターネット  
映像配信